

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年8月6日

上場会社名 株式会社 第一興商 上場取引所 大
 コード番号 7458 URL <http://www.dkkaoko.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 三郎
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 小林 成樹 TEL 03 (3280) 2151
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	31,156	1.5	4,661	△2.3	4,979	△5.6	2,980	△4.7
24年3月期第1四半期	30,685	0.5	4,770	△3.5	5,275	2.2	3,126	2.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 3,047百万円 (△8.6%) 24年3月期第1四半期 3,332百万円 (5.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	47.54	-
24年3月期第1四半期	48.68	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	140,727	94,007	66.1
24年3月期	142,238	93,804	65.3

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 93,017百万円 24年3月期 92,826百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	25.00	-	30.00	55.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	25.00	-	30.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	63,400	2.0	8,400	△7.8	8,800	△11.5	5,000	△4.9	80.36
通期	130,000	2.2	18,800	0.1	19,700	△4.1	11,400	6.6	183.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細につきましては、添付資料P. 4「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期1Q	62,220,596株	24年3月期	63,420,596株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	2,863株	24年3月期	602,863株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期1Q	62,686,395株	24年3月期1Q	64,217,756株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年6月30日、以下「当第1四半期」という）におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや復興需要等を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、欧州債務危機を巡る景気の下振れリスクや夏場に向けた電力供給不足の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況で推移するものと予想されます。

この様ななか、業務用カラオケ事業におきましては、主力市場であるナイト市場やカラオケボックス市場への営業強化に加え、エルダー市場への導入強化を図るなど、安定収入基盤である機器賃貸契約件数およびDAM稼働台数の増加に注力いたしました。カラオケ・飲食店舗事業におきましては、地域・消費者ニーズに合ったマルチブランド展開や、各種キャンペーンなどを積極的に展開いたしました。音楽ソフト事業におきましては、主力アーティストの作品群が収益に貢献いたしました。

以上の結果、音楽ソフト事業とその他の事業が減収となったものの、業務用カラオケ事業とカラオケ・飲食店舗事業が増収となり、当第1四半期の売上高は31,156百万円（前年同期比1.5%増）となりました。利益面におきましては、カラオケ・飲食店舗事業と音楽ソフト事業、その他の事業が増益となったものの、業務用カラオケ事業において一時的な営業費用の増加により減益となったことから、営業利益は4,661百万円（同2.3%減）となりました。また、営業外収益の減少により経常利益は4,979百万円（同5.6%減）、四半期純利益は2,980百万円（同4.7%減）となりました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	30,685	31,156	470	1.5%
営業利益	4,770	4,661	△109	△2.3%
経常利益	5,275	4,979	△296	△5.6%
四半期純利益	3,126	2,980	△146	△4.7%

セグメントの業績は、次のとおりであります。

(業務用カラオケ)

当事業におきましては、主力商品「L I V E D A M」の出荷が引き続き好調に推移いたしました。また、重点戦略地域への営業強化およびエルダー市場に対する営業強化などが奏功し、DAM稼働台数および機器賃貸契約件数は、順調に増加いたしました。さらに、好調に推移するエルダー市場での差別化を図るため、4月より新たなコンテンツをエルダー推奨機「F R E E D A M」に追加するなど、その強化に努めました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	15,693	15,907	214	1.4%
営業利益	3,562	3,338	△223	△6.3%

(カラオケ・飲食店舗)

カラオケルーム事業におきましては、「選べるビッグエコー」をテーマにあらゆる世代に向けた良質なサービスと空間の提供に取り組むため、マルチブランド展開に注力いたしました。また、6月にオープンした「新有楽町店」にインテリアショップFrancfranc(フランフラン)とタイアップした女性専用フロアを展開し、話題となりました。飲食店舗事業におきましては、引き続き集客と運営効率の向上を図るため、複数ブランドの組み合わせによる業態複合に取り組ましました。

(百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	10,287	10,973	686	6.7%
営業利益	1,572	1,643	70	4.5%

（音楽ソフト）

当事業におきましては、経営効率を重視したコストコントロールが定着するなか、演歌作品群が安定的な売上を見せるほか、今年25周年を迎える「BUCK-TICK」と人気急上昇中の「ソナーポケット」が収益に貢献いたしました。

（百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,481	2,319	△161	△6.5%
営業利益	176	205	29	16.8%

（その他）

当事業におきましては、携帯電話向けコンテンツサービスの加入者数は減少しておりますが、販売費等の低減に努めたほか、衛星放送事業の不採算となっていた一部事業を撤退したことにより、収益が改善いたしました。

（百万円）

	前第1四半期	当第1四半期	対前期増減	増減率
売上高	2,223	1,955	△268	△12.1%
営業利益	201	313	112	55.8%

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ1,511百万円減少し、140,727百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動資産では、その他に含まれる前払費用が1,426百万円増加し、現金及び預金が2,980百万円及び受取手形及び売掛金が354百万円それぞれ減少しております。

固定資産では、カラオケ貸貸機器が556百万円増加し、無形固定資産のその他に含まれる音源映像ソフトウェアが194百万円減少しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末に比べ1,714百万円減少し、46,719百万円となりました。

増減の主なものとしては、流動負債では、支払手形及び買掛金が1,484百万円増加し、未払法人税等が3,130百万円及び賞与引当金が605百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、役員退職慰労引当金が373百万円減少しております。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末に比べ203百万円増加し、94,007百万円となりました。

これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加2,980百万円、剰余金の配当による利益剰余金の減少1,884百万円及び自己株式の取得による減少956百万円によるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月14日に発表いたしました第2四半期連結累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ36百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,219	31,239
受取手形及び売掛金	7,007	6,653
たな卸資産	5,155	4,934
その他	6,255	7,745
貸倒引当金	△130	△115
流動資産合計	52,508	50,456
固定資産		
有形固定資産		
カラオケ賃貸機器(純額)	6,180	6,737
カラオケルーム及び飲食店舗設備(純額)	14,479	14,445
土地	24,316	24,289
その他(純額)	6,097	6,147
有形固定資産合計	51,074	51,620
無形固定資産		
のれん	472	436
その他	6,081	5,846
無形固定資産合計	6,553	6,282
投資その他の資産		
投資有価証券	13,892	13,993
敷金及び保証金	12,805	12,838
その他	5,656	5,791
貸倒引当金	△251	△256
投資その他の資産合計	32,102	32,367
固定資産合計	89,730	90,270
資産合計	142,238	140,727

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,328	4,813
短期借入金	5,554	5,768
未払法人税等	5,353	2,222
賞与引当金	1,062	457
その他	10,861	11,497
流動負債合計	26,159	24,759
固定負債		
長期借入金	15,004	14,943
退職給付引当金	3,299	3,364
役員退職慰労引当金	2,220	1,847
負ののれん	190	179
その他	1,559	1,624
固定負債合計	22,274	21,960
負債合計	48,433	46,719
純資産の部		
株主資本		
資本金	12,350	12,350
資本剰余金	12,905	10,964
利益剰余金	68,730	69,825
自己株式	△989	△4
株主資本合計	92,996	93,136
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	793	854
土地再評価差額金	△777	△777
為替換算調整勘定	△186	△196
その他の包括利益累計額合計	△170	△118
少数株主持分	978	990
純資産合計	93,804	94,007
負債純資産合計	142,238	140,727

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	30,685	31,156
売上原価	17,585	18,077
売上総利益	13,100	13,078
販売費及び一般管理費	8,329	8,417
営業利益	4,770	4,661
営業外収益		
受取利息	177	157
受取配当金	36	32
受取協賛金	107	109
負ののれん償却額	10	10
その他	313	148
営業外収益合計	646	459
営業外費用		
支払利息	74	65
為替差損	11	38
その他	54	36
営業外費用合計	141	140
経常利益	5,275	4,979
特別利益		
固定資産売却益	12	0
特別利益合計	12	0
特別損失		
固定資産処分損	50	19
減損損失	1	57
その他	0	—
特別損失合計	52	77
税金等調整前四半期純利益	5,236	4,901
法人税、住民税及び事業税	2,344	2,238
法人税等調整額	△248	△332
法人税等合計	2,095	1,906
少数株主損益調整前四半期純利益	3,140	2,995
少数株主利益	13	15
四半期純利益	3,126	2,980

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,140	2,995
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	194	61
為替換算調整勘定	△1	△9
その他の包括利益合計	192	51
四半期包括利益	3,332	3,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,318	3,031
少数株主に係る四半期包括利益	13	15

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,693	10,287	2,481	28,462	2,223	30,685	—	30,685
セグメント利益 (営業利益)	3,562	1,572	176	5,311	201	5,512	△741	4,770

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△741百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	業務用 カラオケ	カラオケ・ 飲食店舗	音楽ソフト	計				
売上高	15,907	10,973	2,319	29,201	1,955	31,156	—	31,156
セグメント利益 (営業利益)	3,338	1,643	205	5,187	313	5,501	△840	4,661

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、衛星放送事業、Web事業及び不動産賃貸事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△840百万円は、主に報告セグメントに帰属しない本社の管理部門における一般管理費であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更したため、報告セグメントの減価償却方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べ、当第1四半期連結累計期間の「業務用カラオケ」のセグメント利益は27百万円、「カラオケ・飲食店舗」のセグメント利益は8百万円、「その他」のセグメント利益は0百万円、「調整額」のセグメント利益は0百万円、それぞれ増加しております。

(6) 重要な後発事象

(社債の発行)

当社は、平成24年5月14日開催の取締役会の決議に基づき、以下のとおり社債を発行しております。

(1) 銘柄	(株)第一興商第1回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)	(株)第一興商第2回無担保社債 (社債間限定同順位特約付)
(2) 発行総額	3,500百万円	6,500百万円
(3) 発行日及び払込期日	平成24年7月30日	
(4) 発行価格	各社債の金額100円につき金100円	
(5) 利率	年0.486%	年0.806%
(6) 償還期限及び償還方法	平成29年7月28日に一括償還	平成31年7月30日に一括償還
(7) 資金使途	短期借入金返済資金、設備投資資金に充当	